

広報

くらみ

No. 195

平成元年 9月15日

発行・編集 国見町企画課

厚樫山頂めざし315人.....	2~4
大木戸小「子ども夏祭り」.....	5
9月15日は敬老の日.....	6
ふるさとの文化財.....	7
おしらせ.....	8~9
公民館だより.....	10~11
わだい.....	12



あつかし 模擬合戦

8月27日、大木戸小PTA・大木戸地区青少年健全育成協議会が主催した「子ども夏祭り」が大木戸小学校校庭で行われました。当日は台風17号の影響で雨中の合戦にもかかわらず、子どもたちは親子で作った甲冑に身を包み、元気いっぱい奥州合戦を再現しました。

'89 9月

厚樫山頂めざし315人

～あつかし山奥州合戦八百年祭 ナイトウォークラリー～

あつかし山奥州合戦八百年を記念したナイトウォークラリーは、八月十九日、町民約三百人が参加して行われました。

今年、文治五年（一一八九）阿津賀志山を舞台に藤原泰衡の守る奥州軍と、源頼朝の率いる鎌倉軍が激戦を繰り広げた奥州合戦から八百年目にあたり、
「国見町あつかし山奥州合戦八百年祭実行委員会」では多彩なイベントを企画しており、ナイトウォークラリーはその一つとして開催されました。

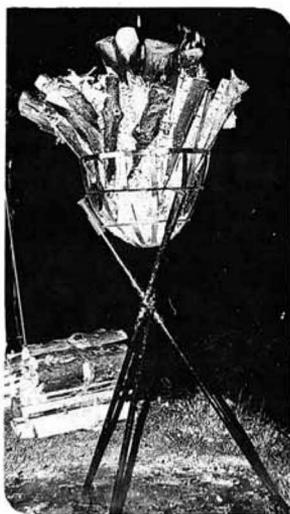
午後五時、藤田小児童、町内各スポーツ少年団員や父母、町民の皆さん約三百人が受け付けを済ませました。

ナイトウォークラリーのスタート、ゴールとなった藤田小校庭で八百年記念会々長富永武夫町長、八百年実行委員会副会長本田吉助町商工会々長があいさつをした後、町消防団員の吹き鳴らすホラ員を先頭に、午後五時四十五分、厚樫山頂を目指して出発しました。たいまつやち

ようちんを手にした参加者は、片道約四・七キロの道のりを元氣に登り、午後七時頃山頂に到着。到着後、奥州合戦慰霊祭が行われ、富永町長をはじめ代表者が玉ぐしをささげ、阿津賀志の戦いで命を散らした武者たちの霊を慰めました。また、山頂では藤田ばやし保存会の太鼓が披露されました。

最後に奥州合戦八百年記念事業の成功にむけ、参加者全員で「エイ、エイ、オー」と力強い勝

ちどきを上げました。参加者は午後九時半ごろゴール、全員が完歩しました。



▲山頂でたかれたかがり火



▲「藤田ばやし保存会」のみなさん



▲ちようちんを先頭に、さあ出発



▲山頂めざして



▲後ろ姿もすてきでしょノ



▲おそろいのTシャツで記念撮影



▲あつかし山頂おにぎわい



▲きょうはラッパじゃなくホラ貝で参加



▲エイ、エイ、オー



▲ヤッター

義経まつり 武者行列 静御前・武者募集

10月29日(日)に実施される義経まつり武者行列の静御前、武者、を次の要領で募集します。

〈募集要領〉

- 募集人数…若干名
- 応募資格…高校生以上。性別は問いません。
町内在住者または町内事業所に勤務されているかた。

- 募集期間…9月25日～9月30日まで
- 申し込み先…国見町商工会(☎85-2280)
- 申し込み方法…電話で申し込みください

なお、参加希望者説明会を10月2日(月)午後1時30分から国見町商工会3階大会議室で行いますから、必ず出席してください。

～誓ってご応募ください～

あつかし山奥州合戦 ナイトウォークラリーに参加して

徳江 佐野 一子

八月十九日、「あつかし山奥州合戦八百 year 懸盞祭」ウォークラリーに参加。午後五時、集合場所の藤田小学校に行く。と、藤田の太鼓の音。のぼりを待つ人。ちようちんを下げる人。たいまつに次々と火がともされる。私の受付番号は57。町の柔道クラブの子供達は柔道着姿、スポーツ少年団の子供達はそら

いの赤のTシャツ。いなどと思ふ。やがて、ホラ貝を先頭に出発。夏の暮れ方の町なかを出て、あつかし山に向かう。

片道4キロ。歩かなくちゃと自分に言いよせさせる。山のすそに着く頃は足元に灯りがほしくなる。実行委員会が用意した今風のたいまつは、細い角材の先に針金でゆわえられたジュース缶。それに布をつめ油をそいで火をつけたもので、小学二年という子供ががんばってそれをかざして山道を登る。「むかしのたいまつは松のやにの多い枝を切って作ったんだって」「ふーん」夏休みの日記に書けるね」「うん」歩きながらこんな会話が生まれる。

夜七時すぎ山頂着。そこには大きなかり火が焚かれ、懸盞祭のための祭壇がしつられてあった。

一一八九年の七月(文治五年)全国覇権を握らう源頼朝が率いる鎌倉軍が、若手県平泉に本拠をおき榮華を誇っていた藤原氏を攻め滅ぼそうと奥州に入った。藤原泰衡は鎌倉軍をこの阿津賀志山でくいとめるべく二重の空堀と三重の土塁からなる四キロメートルの防壁を築いたが激しい攻防の末、鎌倉軍が勝ち藤原氏は滅亡への道をたどらざるを得なかった。

八百年も前、この地でおきた戦いで果して幾万の人の命が消えたのか。たゞ、それが世の流れとはいへ、人間のいのちには変わりはない。「あつかし山奥州合戦」という、あまりにも大きなスケール。

六月に開かれた公民館町民学校の古典文学入門では「吾妻鏡」を聴講させてもらったが、私には容易でその意味をとらえることができないどころから脱け出したいと思っていたのである。

夜の雲たれこめるあつかし山

頂での懸盞祭はおごそかに行われ、全員がかわ手を打ち礼をささげたり静けさの時、そして、山を下る前に全員で勝ちときの声を上げた時、心の中にかすかに「あつかし山奥州合戦」が見えてくるのを覚えました。

藤田小五年 半澤 仁

ぼくは、八月十九日の夜、ナイトウォークラリーに参加しました。個人ではなく柔道スポーツ少年団の一員として参加しました。

まず、藤田小学校に集まって受け付けをした後、柔道の先生に出発前の記念写真をとってもらいました。その時は「ピース」なんかしてよゆうでした。

五時四十分ころ、たいまつを持ち出発しました。はじめのうちはよゆうで歩いていきましたが、登って行くにつれてだんだん足がいたくなってきました。

でも、ちようで写真をとってもらったときは、まだちょっとだけ元気でにこっとわらうことができました。半分くらい登ったとき給水所がありました。ぼくはとっさに手をだして、水をいっぱいもらいました。そのときの水はとて

もおおいしく感じ、ああ、生きか

えったと思いました。その後は、しだいにつかれ、へとへとになってとうとうビリビリになってしまい、後ろにいた車から、

「だいたいよぶかい」

と、声をかけられました。そのときぼくは無理をして、手で大きなまるをつくって見せました。

七時半ころ頂上が見えました。ぼくは、今までの足のいたさもわすれてかけ出しました。頂上に着くとすぐすわって、パンやおかしを食べました。おなか

がすいていたので、いつもよりとてもおいしく感じました。下山の時は、また、たいまつをつけて歩きました。登りと比べるとずっと楽です。ぼくたちのたいまつだけ、藤田小学校まで消えませんでした。

苦しかったけど、あきらめずに頂上までがんばることができ、とてもよかったです。

藤田小六年 丹野ひとみ

八月十九日におこなった、町の行事である「ナイトウォークラリー」に参加し、あつかし山を登山しました。藤田小学校で申し込みをし、校庭を見ると大勢の人がいるのでおどろきました。

五時四十分頃に小学校を出発

しました。わたしは、真ん中辺りにいました。登山の時は、のぼり坂ばかりで、とてもつかれて大変でした。でも、友達といっしょにがんばったり、協力しました。

明るかったのがだんだん暗くなり、足元があぶくなりにはじめ、頂上に着いたときは真っ暗で、頂上でお弁当を食べ、国見町の夜景を見ました。明るいうちに見る風景とちがいで、町の明かりがいちだんときれいだったです。

町長さんからお話があり、下山をはじめました。いままでいていた明かりが急に消えてびっくりしました。帰りは、登りところがあまりつかれませんが、真つ暗な中たいまつを数本で進んだので、つまづいたり、足をすべらせたりして大変でした。

下山はみんなと笑い話をして、楽しみながら歩きました。九時十五分頃に小学校に着きました。受付でカードを返し、町長さんの話を聞き、解散しました。ナイトウォークラリーに参加し、小学校最後の夏休みの思い出をつくることができ、とてもうれしかったです。

来年も、またあるなら参加したいと思います。

にぎやかに

大木戸小「子ども夏祭り」

手づくり甲冑で

模擬合戦

八月二十七日、大木戸小学校（星輝男校長）で「子ども夏祭り」がにぎやかに繰り広げられました。

今年には奥州合戦八百年を記念し、親子で作った甲冑姿で「あつかし模擬合戦」を行いました。夏休みの楽しい思い出づくりのために、お父さん、お母さんと一緒に段ボール、画用紙などを利用して作った甲冑に身を包んだ。若武者たちが入場。藤原軍と鎌倉軍に分かれ向かい合

りをして花火を合図に合戦開始。台風17号の影響で風雨が強まる中、互いの腰に付けた風船を模擬刀で割り合いました。雨にもかかわらず大勢の父母、地区民が見守る中、泥んこになりました。

この後は会場を体育館に移し、ブラジル農業研修生の宇野百合子さんから八人を招待しての盆踊り。浴衣姿の女の子たちをはじめ、農業研修生、先生も踊りに加わり、やぐらを囲んで大きな踊りの輪が広がりました。子どもたちにとって、夏の楽しい思い出の一つになりました。



▲松浦PTA会長の登場



▲手づくりの甲冑に身を包み



▲雨中の模擬合戦



▲にぎやかに盆踊り



▶りりしい甲冑姿

奥州合戦八百年祭記念 町民ウォーキング大会

奥州合戦八百年祭を記念し、史跡めぐりウォーキング大会を開催しますので、子どもからお年寄りまで多数ご参加ください。

- ◇日 時…10月10日（体育の日） 午前9時出発
- ◇集合時間…午前8時30分 国見町役場前駐車場
- ◇及び場所
- ◇参加資格…小学5年生以上の方
- ◇定 員…150名（先着順）

- ◇史跡めぐりコース（18km）
役場—義経腰掛松—岩瀬遺跡—下二重堀防塁—
昼 食—徳江観音寺—塚野日八幡塚—役場（解散）
（森江野町民センター） 14:30
- ◇そ の 他…昼食・雨具などを持参ください
昼食時に豚汁を用意します
- ◇申し込み方法…役場保健課に9月20日（水）まで
電話で申し込んでください。
☎85-2111（内線142）有4165

9月15日は「敬老の日」

おじいちゃん
おばあちゃん
ながいきにね

—タイトルを書いてくれたのは藤田幼稚園の武田和子ちゃん(6歳)です—

九月十五日は敬老の日。また、この日から一週間は老人福祉週間です。

私たちの町には、六十五歳以上のお年寄りが、四月一日現在で千八百九十七人います。高齢者の割合は、町全人口の一・五・八%となっており、しかも高齢者の比率は年々増える傾向にあります。

町では、九月十二日午前十時から町民体育館で敬老会が開かれました。子どもも若者もやがては老人になります。長い間社会に貢献してきたお年寄りたち、そのお年寄りの生き方を学び、私たちが老人になったときのことを考えながら、ふだんのお年寄りとの心の通い合いを大切にしましょう。

平成元年9月15日現在

(85歳以上の方、敬称略)

▽101歳 鴨田惣太郎(内谷西)
▽94歳 松浦繁一郎(大木戸)
佐久間うめよ(大町南) 菊地ちか(貝田)

▽93歳 岩城竹次(川内) 秦ナチ(駅前) 菅野キヨノ(内谷東) 鈴木キセ(川内) 菊池ふよ(中部)

▽92歳 一條ヨシ(太田川) 黒田ヨシノ(泉田下) 佐久

間エツ(第二) 吉田シツマ(第四) 佐藤トキハ(第七) 村上ユリ(第九) 佐久間ナヨ(第二) 遠藤フク(光明寺) 佐藤トヨ(北部)

▽91歳 野田長四郎(並柳) 佐久間次次郎(第十一) 渡辺ミヨ(滝山) 大波アキ(第八) 阿部クラ(大木戸) 阿部ツルノ(大木戸)

▽90歳 菅野富藏(内谷西) 菅野喜一(内谷東) 齋藤勲吉(徳江北) 吉見照代(宮町北) 富塚キチ(小坂) 実沢サキ(第九) 八巻サワ(徳江北) 佐藤サタ(高城)

▽89歳 熊田一怡(大町北) 吉田重兵衛(山崎北) 半沢幸七(山崎小館) 八巻勘次郎(第七) 松浦武助(石母田原) 寺島長吉(第十二) 佐藤倉治(第十二) 八島けさを(本町) 仲田トク(宮町北) 吉田マキ(山崎館) 菅野ヨノ(源宗山東) 小野カツミ(第二) 大津キツ(第三) 佐野アキ(第八)

瀬戸ハルミ(川内) 鈴木フサノ(川内) 88歳 奥山亀一(駅前) 松浦権治郎(石母田西) 仲野助太郎(鶴町) 菊地忠次(石母田原) 実沢平作(第八) 岩城キクノ(大町南)

板垣サダ(大町南) 渡辺ウメ(宮町南) 赤坂ハル(内谷西) 小橋イマ(第八) 佐久間マサヨ(第二) 鈴木ラク(貝田) 星野ツキ(光明寺) 吉川ヨシイ(山根) 野田カツ(並柳) 桜沢ヨツ(中部) 瀬戸トミヨ(中部) 佐藤あやを(川内)

▽87歳 小西長三郎(大町南) 佐藤福寿(本町) 佐藤寅一(宮町北) 牧野源藏(宮町北) 須田滋一(町東) 佐藤善次郎(小坂) 朽木松吉(前田) 佐野謙(第八) 遠藤喜平(山根) 羽賀トキワ(駅前) 高橋アイ(本町) 本間ツネ(第一) 吾妻サタヨ(第三) 村上トヨ(第八) 佐藤キイ(貝田) 鈴木キ(川内) 鈴木タケ(川内)

▽86歳 高橋徳太郎(大町南) 吾妻寅吉(鶴町) 八島正二(山崎北) 武田岩吉(泉田下) 小野寺省二(泉田中) 吉田嘉藏(第四) 後藤正明(第八) 寺島長太郎(第十) 大槻清(貝田) 石川卯藏(貝田) 阿部勇吉(貝田) 谷津源一(山根) 菊地辨治(並柳) 国分いちの(錦町) 後藤ヨテ(大町南) 中野よすみ(鶴町) 佐藤ナヲ(石

母田東) 高橋ヨシエ(山崎北) 吉田マツノ(山崎館) 佐藤サト(泉田中) 熊坂テツ(内谷西) 大津ツツ(第三) 佐藤はるの(徳江北) 本多ミチ(徳江北) 佐野キヨ(第八) 佐藤セン(貝田) 佐藤キン(原町) 玉手トミ(中部)

▽85歳 佐藤元一(小坂) 羽田市太郎(板橋) 阿部林右エ門(泉田下) 菊地唯七(第十一) 松田久之丞(貝田) 齋藤金三郎(貝田) 桜沢兼太郎(高城) 板橋琢治(並柳) 松浦眞(並柳) 鈴木清六(川内) 岡崎ハツヨ(大町南) 菊地ハク(大町南) 本間キヨ(大町北) 穂苅こと(本町) 五十嵐リヨ(鶴町) 阿部クラヨ(石母田表) 佐藤キハ(石母田表) 黒田ツヨ(宮町南) 横山サキ(小坂) 佐藤ハル(小坂) 長谷川さよ(板橋) 佐藤ギン(泉田上) 鴨田セキ(内谷東) 佐久間芳(第二) 市川ミツ(第二) 石川ヨツ(第四) 八巻キヨ(第七) 佐野キヨ(第七) 佐久間ハン(第十二) 佐藤ヒロ(貝田) 八島アキ(高城) 瀬戸セツ(中部) 佐久間カネ(川内)

ふるさとの文化財

65

たて とう べっ 館 当 別

菊池利雄



▲別当館 (白石市越河)

比高が約七〇〇をはかる急峻な断層崖が発達し、頂上部はほぼ平坦な地形をなし、山頭・西在と呼ばれる集落が散在している。断層崖の中腹部中妻には、この村の産土神諏方神社が鎮座し、地元ではこのあたりの地を別当館と呼んでいる。

JR東北線貝田駅の前より、国道四号線を東眺越えに約一・五如北東の方に向えば、旧奥州道中の宿駅景観を今に残している越河に至る。西手には宿町との

安永三年(一七七四)、仙台藩では領国下の村々に対し「風土記御用書上」の提出を命じており、刈田郡越河村(市)越河についてみれば、三ヶ所の古館の書上があり、その中に「別当館、高三拾間程、東北高階、御館主藤原泰衡家臣、金剛別当秀綱御住所ト申伝候。當時八畑ニ罷成候事」とある。(白石) また「吾妻鏡」の文治五年(一一八九)八月七日の条によれば、藤原泰衡は源頼朝の率いる鎌倉軍の侵攻を、阿津賀志山に引き止めた。城塞(種)を築き、異母兄西木戸太郎国衡を以て大將軍となし、金剛別当秀綱、其子下須房太郎秀方已下二万騎の軍兵を差副、凡そ山内三十里(約六、六キロ)の間、健士充滿す。加之、苜田郡に於て、又城郭を構へ……とあり、楯の規模三十里(約九、七キロ)の、具体的ことは明らかでないが、東山道(山内)沿いの南北状に考えれば、阿津賀志山防壁下の滑川(東北中北)を南限とし、

北は旧白石の市街地付近に及ぶことになる。しかし「吾妻鏡」の記述の中には二重堀(一達限)のの流れを堰入れ(二達限)と相違するところもあり、山内三十里もそのまま信じることはできないにしても、阿津賀志の語源となった萬倍は苜田郡南部の郷、駅名(城塞)であり、前記の「越河村御用書上」や「貝田村誌(磐城)」にも異境にはあつかし山(磐城)にあり、別当館近辺の湯ノ倉館・深山岩・虚空藏岩なども、文治の奥州合戦に関わる伝えが残されていることから、阿津賀志楯の範域は越河の地に及んだとみて問題はなかろう。

別当館は断層崖を要害とした山城で、南側は松川支流の山頭沢川、北側は西在の山地より流れだす中妻川による、深い浸食谷で断ち切られた独立丘。頂上の本郭(西五ノノ、北五ノノ)には一部土塁(西五ノノ、北五ノノ)が残されており、虎口は切通し状の古い様式のもので、西側の集落との間はドロ田堀、北東部には二ノ郭がある。水ノ手は山腹の湧水地があてられており、的場なる地名も残されている。館は眼下を走る東山道を押さえる、軍事交通上の要衝の地に立地していた。

国保コーナー

国民健康保険 被保険者証の更新

現在皆さんに交付している国民健康保険被保険者証(保険証)は、今年九月三十日に有効期間が切れ、使用できなくなります。更新の方法は、各地区担当の国保協力員(母子保健推進員)に提出し、更新を受けることになりますので、左記の日程まで届けるようお願いいたします。

- ☆検診日
- ☆入院人間ドック
- ☆検診場所：公立藤田総合病院
- ☆人間ドックの料金
- ☆入院人間ドックの検査料は五万六千五百円(消費税込)
- ☆町の負担 五万一千五百円
- ☆個人負担 五千六百円
- (日帰り人間ドックの検査料は二万五千七百五十円(消費税込))
- ☆町の負担 二万三千二百五十円
- ☆個人負担 二千五百円
- ☆申し込み方法
- ☆個人負担金を添えて、直接町保健課に申し込んでください。
- ☆申し込み期限
- 平成元年9月30日(土)まで
- ◎人間ドックについて、詳しくは町保健課国保係(番八五二一)内線一四三)までお問い合わせください。

あなたも人間ドックを受けてみませんか

地 区	提出期限
森江野・大枝	9月25日
藤田・山崎	9月26日
小坂大木戸・石母田	9月27日

町では、働き盛りで忙しい青年・壮年・実年の皆さんを対象に人間ドックを実施します。☆対象者

国見町国民健康保険に加入し

ている方で、満69歳までの男女。入院・日帰りドックとも申し込み順各百名。



消費税の届出を

お忘れなく!

本年四月にスタートした消費税について、事業者の方には各種の届出をご提出いただく必要があります。

それぞれの要件に該当する場合は、所轄の税務署に必要な届出書の提出をお忘れなく。

①基準期間の課税売上高が三千万円を超えるとき……お早目に「消費税課税事業届出書」

②簡易課税制度を選択するとき……「消費税簡易課税制度選択届出書」を本年十月二日まで

③課税事業者になることを選択するとき……「消費税課税事業者選択届出書」を本年十月二日まで

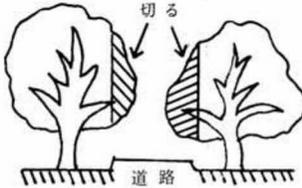
詳しくは、福島県税務署(☎三三四一三二二)にお気軽におたずねください。

道路にはみ出した

枝を切ってください

国道・県道・町道・農林道に果樹や囲木の枝が繁茂し、見通しが悪く危険な箇所がみられます。

道路境界線からはみ出している部分は、早目に伐採をお願いします。



シルバーなんでも相談

福島県高齢者総合相談センター

福島県、福島県社会福祉協議会では、お年寄りとご家族が安心して暮らせるように「福島県高齢者総合相談センター」を開設しています。

お年寄りの悩みことや心配ごとなどの一般相談、法律や病氣

介護などの専門相談をお受けしておりますので、ぜひお気軽にご相談ください。

相談は電話、来訪、手紙のいずれでも結構です。高齢者がかえておられるご家族の方もご利用ください。秘密は固く守ります。

相談はすべて無料です。ご相談は、福島市渡利字七社宮一、福島県高齢者総合相談センター(☎二四一三二二五)まで。

秋の全国交通安全運動

9月21日から

9月30日まで

今年の交通事故の発生は、全国的に死亡事故が増加している現状にあります。特に死亡事故の特徴としては、高齢者の被害や青年ドライバーによる事故、また夕方から深夜にかけての事故が多発しています。

9月21日から30日までの10日間「秋の全国交通安全運動」を実施します。期間中、特に無謀運転の指導・取り締まりを重点とするほか関係機関、団体の協力を受け、各種施策を行います。

〈お年寄り、皆さんへ〉

道路を横断するときは、次の三点に注意しましょう。

○横断歩道や歩道橋などの安全

な場所を渡りましょう。

○必ず一旦止まって、左右の安全を確認しましょう。

○車の直前、直後の横断はやめましょう。

（シートベルト、ヘルメットは正しく）

死亡事故のうちでも、シートベルト・ヘルメットを着用していれば助かったと思われるものが数多くみられました。

たとえ近い距離でも、人の見えない夜間であっても必ず着用しましょう。また、シートベルトやヘルメットは飾りではないので誤った着用は、「もしも」の場合に役に立たないことは、いうまでもありません。

後部座席のシートベルトの着用をすすめるとともに、正しい着用を身につけましょう。

司法書士

無料法律相談会

十月一日は「法の日」です。法の日の行事として福島県司法書士会では、次のとおり無料法律相談会を開設します。

▽日時

10月1日(日)

午前10時～午後3時

▽場所

福島市大町9番20号 N T T「ラ・ベル」一階正面

詳しくは、福島県司法書士会 福島支部(☎二二四六六二)におたずねください。

悩みや苦情はまず相談

秋の行政相談週間

10月15日から21日までの一週間は、「秋の行政相談週間」です。

行政相談は、みなさんが国や県、市町村などの行政機関、公庫、J R、N T Tなどの仕事に関して困っていることや要望したいことについて相談に応じ、その解決のお手伝いをするものです。総務庁では、行政相談制度の一層の利用促進を図るため、この一週間を「行政相談週間」と決めました。

福島行政監察事務所では毎日相談に応じていますが、このたび次のとおり「二日合同行政相談所」を開設しますので、行政に対する苦情や要望などお気軽にご相談ください。

▽日時

10月17日(火)

午前10時～午後3時

▽場所

郡山市麓山一丁目8ノ4 郡山市公会堂

詳しくは、福島行政監察事務所(☎三三三二一〇〇)におたずねください。



「日本語を考える」

～ 成人・中央婦人学級学習会 ～

八月三十日、午後一時三十分から、福祉センター講堂で、成人学級と中央婦人学級生四十二名が出席して、合同学習会が行われました。

福島大学教授の村上直治先生を講師に迎え、日本語を考える「ことばの美しさと意味深さ」ということについて聴講しましたが、先生の造詣深い専門的な

内容に基づき巧みな話術に魅了され、時間のたつのが本当にはやく感じられました。

日常私たちが何気なく口にする身近なことば(共通語と方言、敬語など)には、その人の考え、感じ方が出ており、それぞれの意味のよさがあり、それを認め合うことが大切であることがよく理解されました。



▲成人・中央婦人学級合同学習会

また、今話題の図書「一ぱいのかげそば」や、松尾芭蕉「奥の細道」の俳句、草野心平先生の詩などを例にとられてお話なさいましたが、私たちの生活の中でこうあってほしいと思う値うちのある感じ方、考え方(人間的現実といわれるもの)が大事であること、ことばには意味があり、それは文化深さのことばの美しさと、意味深さにとらえるには、絶対これだけが正しい、いろいろな経験をするということが意味を深く、生き生きとしたも

国見町公民館
85-2676
(有) 4156

のとしてとらえることができるということなど深く考えさせられました。

更に、ことばの意味は時間がかかってもいいから確かな深い意味としてとらえることが大切であり、これが楽しさや、豊かな心へつながるものであるという結びのことばが強く印象づけられました。

ふだん、ことばの意味について深く考えることが少ない私たちが、今回この学習は、今後美しく豊かな日本語の世界への興味、関心をいっそう高めていかなければならない重要さを改めて考えさせられ、満足感と充実感のうち散会しました。

ジュニアリーダー キャンプ研修会に参加して

国見町教委 佐藤幸子

ジュニアリーダーキャンプ研修会は、八月三日から五日まで二泊三日で国立南蔵王青少年野営場で開催されました。参加者は中学一年生から三年生までの男女生徒二十七名と指導者七名で、四班に分かれ班活動を中心として三日間を過ごしました。

第一日は七時三十分福祉センターに集合し、バスでキャンプ場めざして出発しました。

私は指導員として参加したもののジュニアリーダーの生徒達に会うのは初めて。私の方が緊張しているのと、

「おはようございますノキようは晴れてよかったですね。おばさんも行ってくださるんですか。よろしくお願ひします。」と元気にことばをかけたくれた女の子、どの子も「おはようございます」と初めて顔を見る私にさざめきい声であいさつをしてくれました。

私もこのあいさつで不安や緊張がほぐれ、ホッと胸をなでおろしました。

第一日は、テント設置と沢下り、昨年経験した参加者を中心に全員が協力して手際よくテントが張られました。第二日は約七時間の蔵王登山とキャンプファイヤー、天候が不順で心配でしたが登山口まで行くとパッと晴れ絶好の登山日和となりました。さすが中学生は毎日の部活などで鍛えた身体とあって一人の落後者もなく下山することができました。バテてフーフー言っていたのがおばさんただ一人、この私でしたが子供達の励ましもあり無事山を下ることができました。どの子供達も、急な坂道を登ったり下ったりと苦しいこともあっただけに登り

きった時の気持ちは最高の気分

だったことでしょう。そしてこの蔵王登山が一番印象に残ったのではありませんか。第三日は目がさめると雨がしとしと降っていました。雨の合間にぬってテントをかたづけ帰路につきました。全員が蚊の大軍に襲われたものの、けがや病気がつせず三日間のキャンプ研修を無事終えることができました。

この三日間を通して中学生から特にあいさつをかわす心、頑張る力、協力することの大切さを教えられました。今の子供はとくに生気だと言われますが、対等に話してみたいだけなのかもしれません。聞く耳を持つ話相手になってあげられる大人でありたいと感じた研修会でした。



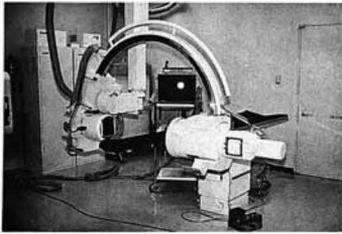
▲参加者全員で記念撮影

わだ い



高度医療に威力発揮

このたび公立藤田総合病院に、脳血管障害を疑われる患者さんにとっての確な診断をするための最新の器械が導入されました。最近、放射線診断学の画像処理にコンピュータが用いられるようになり、脳血管撮影の分野にも応用され、これが今回導入されたDSA(デジタル・サブストラクション・グラフィック装置)です。コンピュータで



▲血管撮影に威力を発揮

英語指導頼みます

外国青年英語指導助手として、国見、保原両町の中学校で英語指導にあたるマックフェューリ、クリスチャン・メアリーさんが八月八日、役場を訪れ、富水武夫町長、蓬田英夫教育長に着任のあいさつをしました。メアリーさんはイギリスのグラスゴウ出身で、グラスゴウ大



▲固い握手をするメアリーさんと富永町長

画像処理を行うことにより、少量の造影剤で鮮明な血管画像を得ることができ、副作用の面でも安全性が増しています。また、従来の検査方法に比べ、細い針を頸動脈から穿刺することと短時間に撮影が済み、苦痛もほとんどなく、外来で検査を行うことができるようになりました。

国見町に県知事表彰

国見町は、このほど昭和六十二年個人県民税収納成績が優れているため、福島県知事から表彰されました。その伝達が、去る八月二十一日役場町長室で行われ、佐藤福島県税事務所長から富永町長に感謝状が手渡されました。

伝達式には町長をはじめ、大波勇町納税貯蓄組合連合会長、小林光雄副会長が出席しました。今回表彰を受けたことは、町民皆さんをはじめ、納税貯蓄組合長さんの税に対する深いご理解とご協力のたまものであり、深く感謝を申し上げます。



▲感謝状を受ける富永町長

暴力排除

モデル地区を結成

暴力団の大きな資金源となっている「みかじめ料」(用心棒料)をなくし、さらに物品の購入やリースの強要に応じないことを目的とした「暴力排除藤田地区推進連絡会」(岩城恭一郎会長)が八月二十四日、藤田地区の飲食店、パチンコ店、旅館など二十二店が会員となり、総会を開催し発足しました。

会則では、暴力団とは関係をもたず、みかじめ料の要求があった場合や物品購入、リースの強要されたときはすぐに桑折警察署に通報することをうたっており、事務局は桑折警察署刑事係に置くことになりました。

糖尿病教室

開かれる

町保健課主催の「糖尿病教室」が、八月二十一日から三日間の三回シリーズで、町民福祉センターを会場に開催され、延べ百三十四名の方が受講しました。

公立藤田総合病院の小野美明先生、栄養士の渡辺志保子さんを講師に迎え、糖尿病の概念と治療法、糖尿病では特に注意が必要な食事療法については調理実習をまじえて学習しました。

調理実習では野菜の天ぷら、かぼちゃの煮つけ、茄子の塩もみを作り、受講者全員で会食しました。



▲糖尿病教室

編集日記

○8月19日に行われた「あつかし山ナイトウォークラリー」を取材。暗やみの中、次々と山頂に到着する参加者を撮影中、蚊に刺されかゆいことかゆいこと。その数全身十数か所。

○今月号はカメラルポ中心。広報紙に掲載された写真を、ご希望の方に差し上げます。企画課広報広聴係までお申し出ください。

○雨が降り続いています。実りの秋。そろそろさわやかな秋の訪れを期待。